

2022年度 第2四半期 決算説明会資料

2022年11月8日

株式会社 **きんでん**

目次

1. 決算概要と通期及び今後の見通し	(9)	【連結】 前年同期比較	…	1 4
(1) 決算概要	… 3	(10) 【連結】 完成工事高の増減	…	1 5
(2) 通期見通し	… 4	(11) 【連結】 海外受注・完成工事高の状況 (地域別)	…	1 6
2. 業績の状況		(12) 【連結】 営業利益の増減	…	1 7
(1) 【個別】 予想との比較	… 6	(13) 【連結】 貸借対照表の状況	…	1 8
(2) 【個別】 前年同期比較	… 7	(15) 【連結】 キャッシュ・フローの状況	…	1 9
(3) 【個別】 工事種別の状況 (受注)	… 8	3. 業績予想		
(4) 【個別】 工事種別の状況 (完成)	… 9	(1) 【個別】 通期予想	…	2 1
(5) 【個別】 完成工事高 受注時期別 (配電工事を除く)	… 1 0	(2) 【連結】 通期予想	…	2 2
(6) 【個別】 工事種別手持工事高の状況	… 1 1	4. 株主還元		
(7) 【個別】 販売費及び一般管理費の状況	… 1 2	配当について	…	2 4
(8) 【連結】 予想との比較	… 1 3			

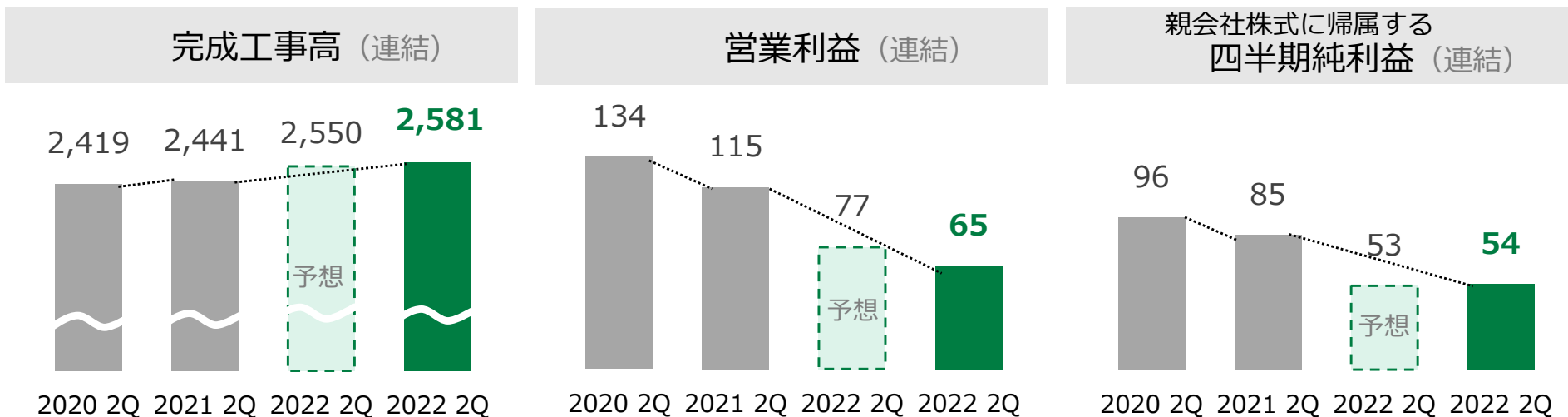
1. 決算概要と通期及び今後の見通し

(1) 決算概要

■ 連結・個別共に増収・減益

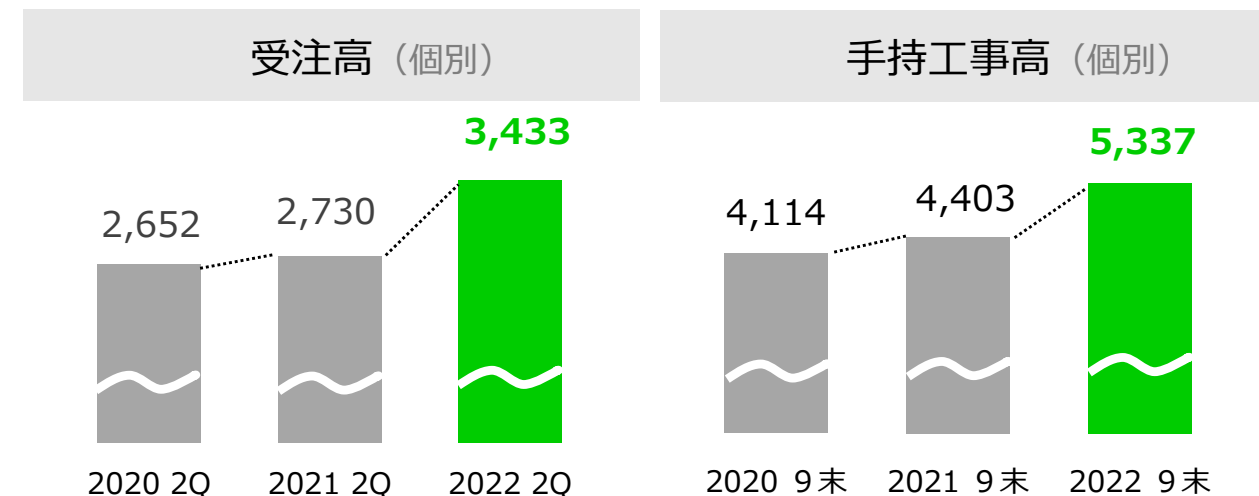
■ 利益面では厳しい状況が続いているが、期首予想に対してほぼ想定の内

(単位:億円)



■ 一般電気工事を中心に積極的な営業活動が奏功し、前年同期を大幅に上回る受注を獲得

■ 関西電力送配電からは一定の発注が継続し、ほぼ計画通りに推移



手持工事量は
非常に高い水準

(2) 通期及び今後の見通し

受注確保を巡る価格競争や資材費高騰の影響は、しばらく続くと想定される

原価低減努力により更なる利益確保に努める

通期業績見通しは、期首発表している予想に変更はない

- 今後、当社力を発揮できる案件が豊富にある
- 当社の使命としての電力安定供給に引き続き貢献する
- 再生可能エネルギー関連工事にも更に積極的に取り組む

「自ずと人が集まる、自ずと技術が集まる、自ずと社会からの注目が集まる、より魅力的な会社」を目指す

2. 業績の状況

(1) 【個別】 予想との比較

- ・ 営業利益が予想を下回ったが、全体として、ほぼ計画通りに進捗

(単位:百万円)

	2Q予想	2Q実績	差額	率
完成工事高	220,000	223,990	3,990	1.8%
営業利益	7,000	6,363	△ 636	△ 9.1%
営業利益率	3.2%	2.8%	△ 0.4	—
経常利益	10,000	10,343	343	3.4%
四半期純利益	7,000	7,472	472	6.8%
1株当たり四半期純利益	34.16 円	36.46 円	2.30 円	

(2) 【個別】 前年同期比較

- ・ 受注工事高は大幅増加、完成工事高は増加
- ・ 工事利益の減少と、販管費の増加により、営業利益、経常利益、純利益は減少

(単位:百万円)

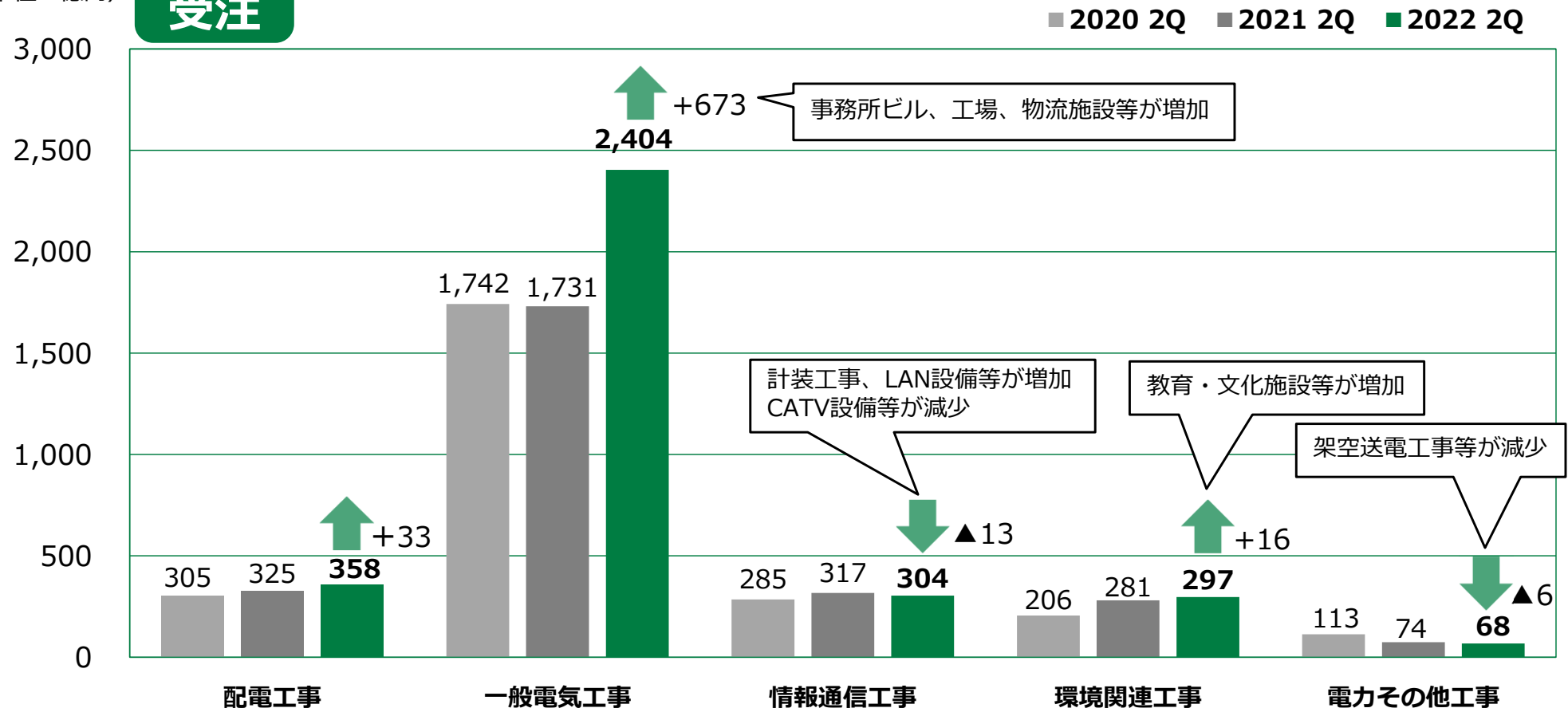
	2021.2Q	2022.2Q	増減	増減率
受注工事高	273,063	343,389	70,326	25.8%
完成工事高	214,773	223,990	9,217	4.3%
完成工事総利益	35,004	31,101	△ 3,903	△ 11.2%
完成工事総利益率	16.3%	13.9%	△ 2.4	—
販売費及び一般管理費	23,538	24,737	1,199	5.1%
営業利益	11,466	6,363	△ 5,103	△ 44.5%
営業利益率	5.3%	2.8%	△ 2.5	—
経常利益	14,527	10,343	△ 4,184	△ 28.8%
四半期純利益	10,727	7,472	△ 3,255	△ 30.3%
1株当たり四半期純利益	52.34 円	36.46 円	△15.88 円	

(3) 【個別】工事種別の状況（受注）

- ・ 配電工事、一般電気工事、環境関連工事は増加
- ・ 情報通信工事、電力その他工事は減少

(単位：億円)

受注



(4) 【個別】工事種別の状況（完成）

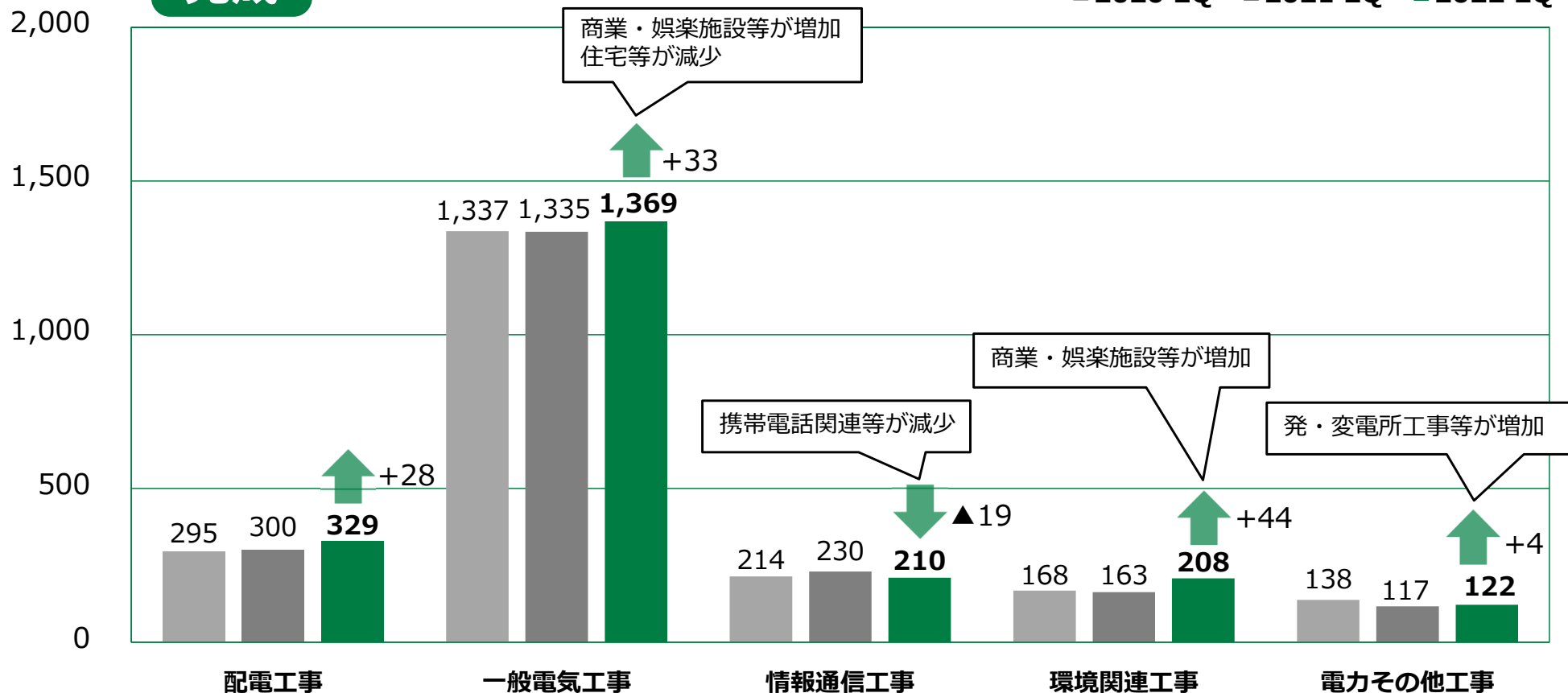
- ・ 配電工事、一般電気工事、環境関連工事、電力その他工事は増加
- ・ 情報通信工事は減少

◇ 完成工事総利益率の順位（工事種別）

①配電 > ②情報通信 > ③電力その他 > ④一般電気 > ⑤環境関連

(単位：億円)

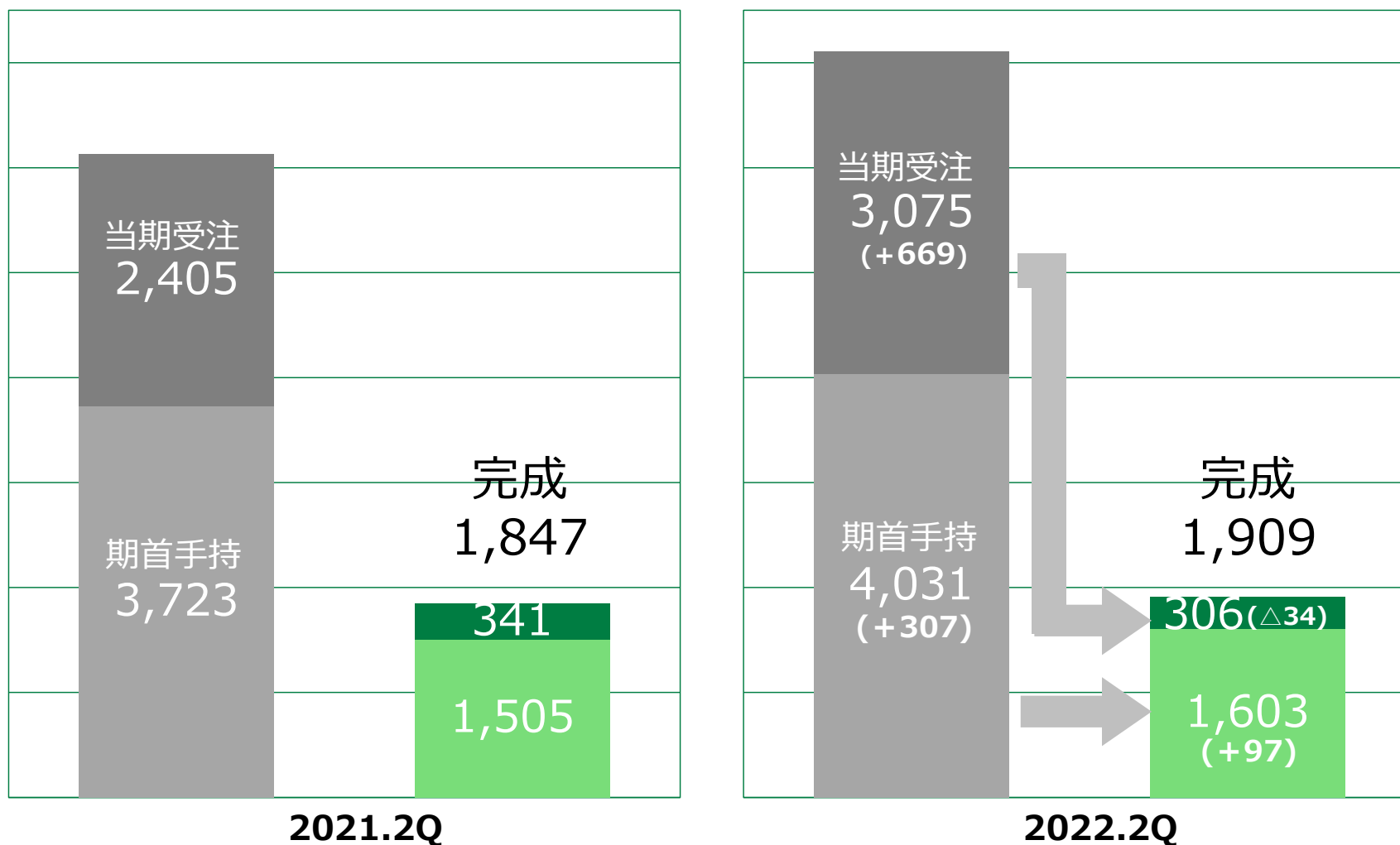
完成



(5) 【個別】完成工事高 受注時期別 (配電工事を除く)

- ・ 期首手持からの完成工事高は、1,603億円 (97億円増加)
- ・ 当期受注からの完成工事高は、306億円 (34億円減少)

(単位：億円)



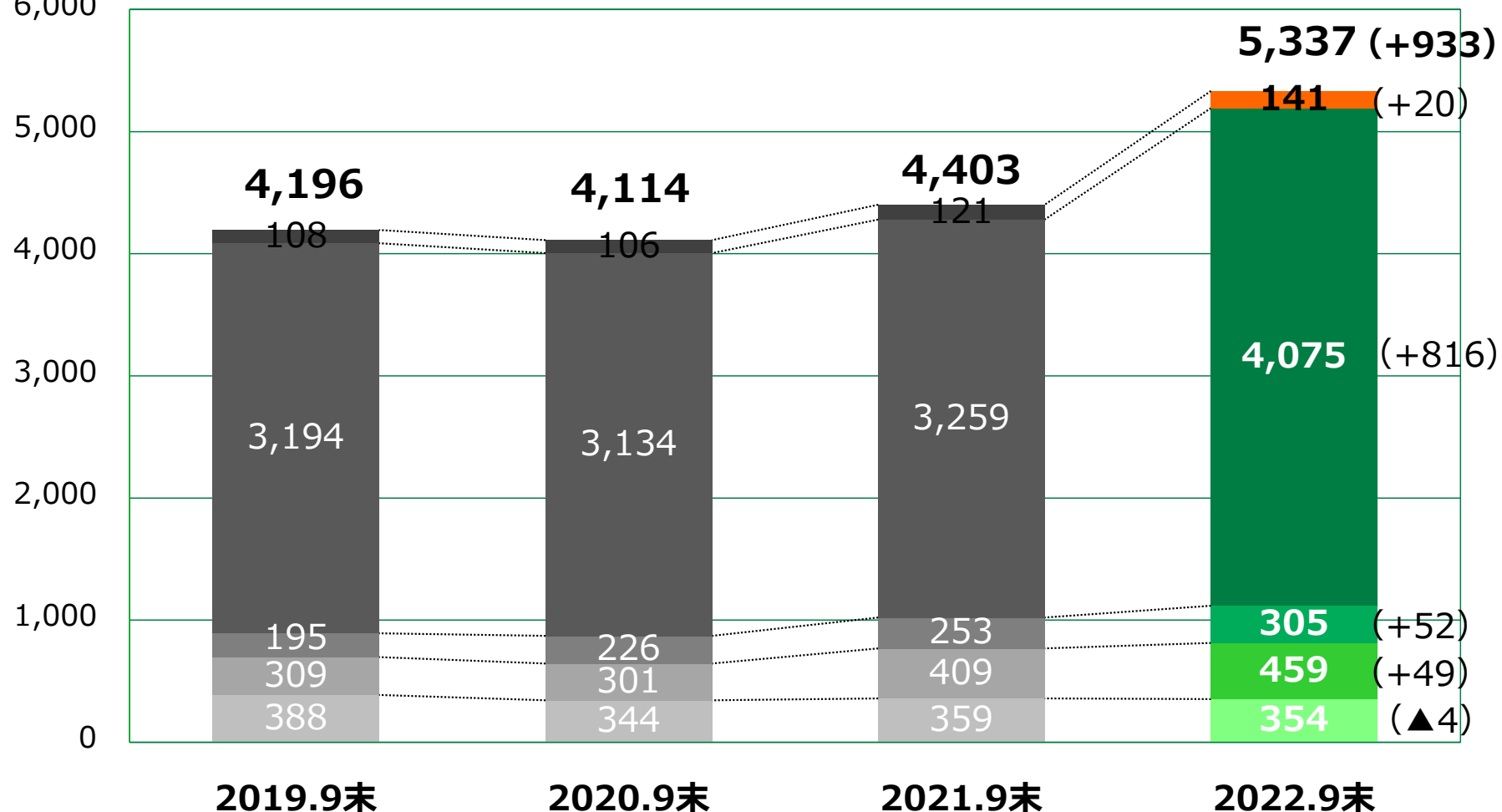
(6) 【個別】 工事種別手持工事高の状況

- ・ 手持工事高は、前年同期末より933億円増加
- ・ 非常に高い水準となっている

(単位：億円)

6,000

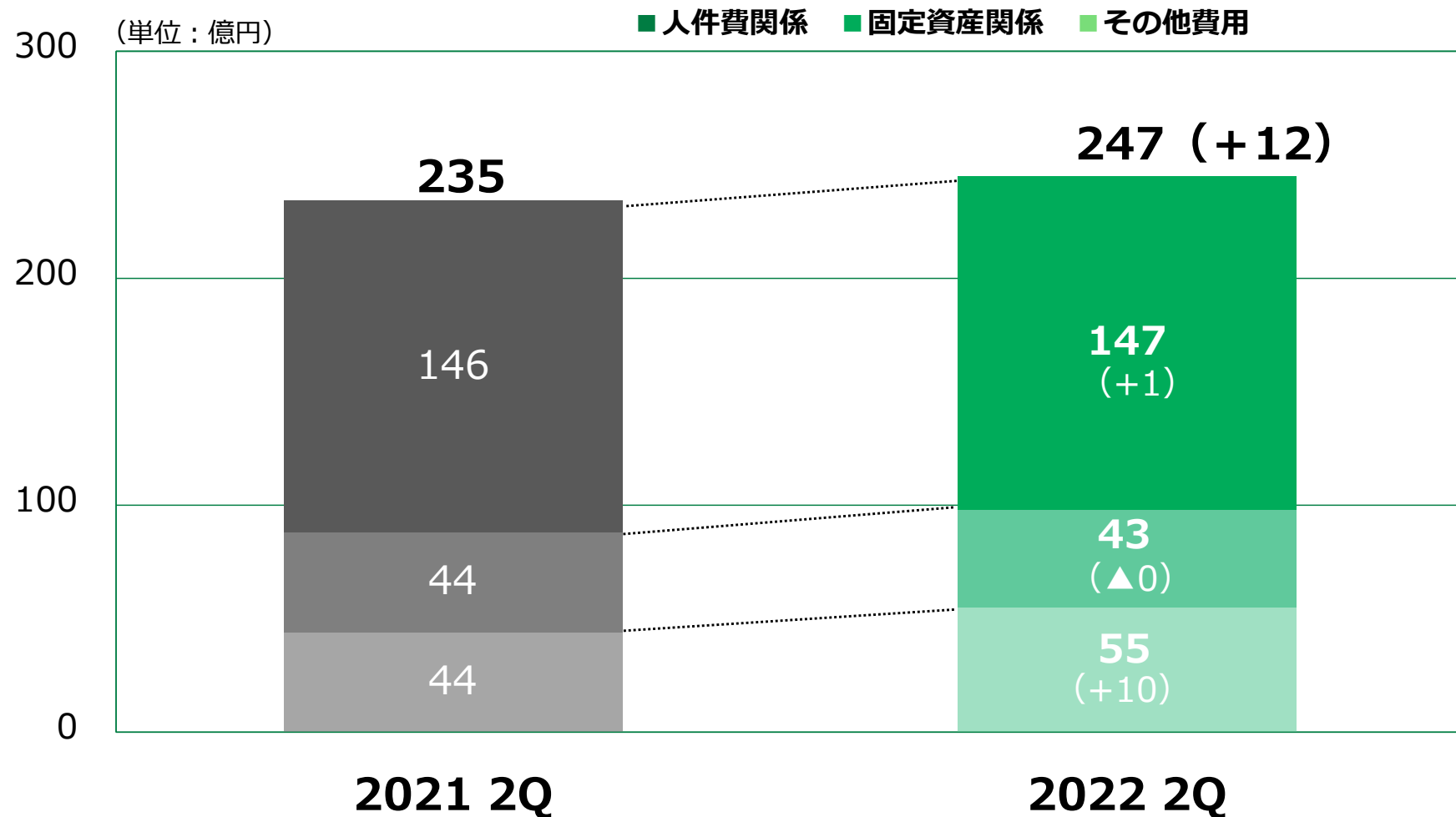
■ 配電 ■ 一般電気 ■ 情報通信 ■ 環境関連 ■ 電力その他



(7) 【個別】販売費及び一般管理費の状況

■ 前年同期より12億円増加

- ・ その他費用（通信費、交通費、調査研究費、交際費等）が増加



(8) 【連結】 予想との比較

- ・ 営業利益が予想を下回ったが、全体として、ほぼ計画通りに進捗

(単位:百万円)

	2Q予想	2Q実績	差額	率
完成工事高	255,000	258,108	3,108	1.2%
営業利益	7,700	6,599	△ 1,100	△ 14.3%
営業利益率	3.0%	2.6%	△ 0.4	—
経常利益	8,700	8,665	△ 34	△ 0.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,300	5,487	187	3.5%
1株当たり四半期純利益	25.86 円	26.77 円	0.91 円	

(9) 【連結】前年同期比較

■ 完成工事高は増加、各利益は減少

- ・ 子会社業績が増収増益であったことから、個別に比べて増収額が拡大、減益額が縮小

(単位:百万円)

	2021.2Q	2022.2Q	増減	増減率
完成工事高	244,144	258,108	13,963	5.7%
完成工事総利益	40,062	36,577	△ 3,485	△ 8.7%
完成工事総利益率	16.4%	14.2%	△ 2.2	—
販売費及び一般管理費	28,561	29,977	1,415	5.0%
営業利益	11,500	6,599	△ 4,901	△ 42.6%
営業利益率	4.7%	2.6%	△ 2.1	—
経常利益	12,536	8,665	△ 3,870	△ 30.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8,516	5,487	△ 3,028	△ 35.6%
1株当たり四半期純利益	41.55 円	26.77 円	△14.78 円	

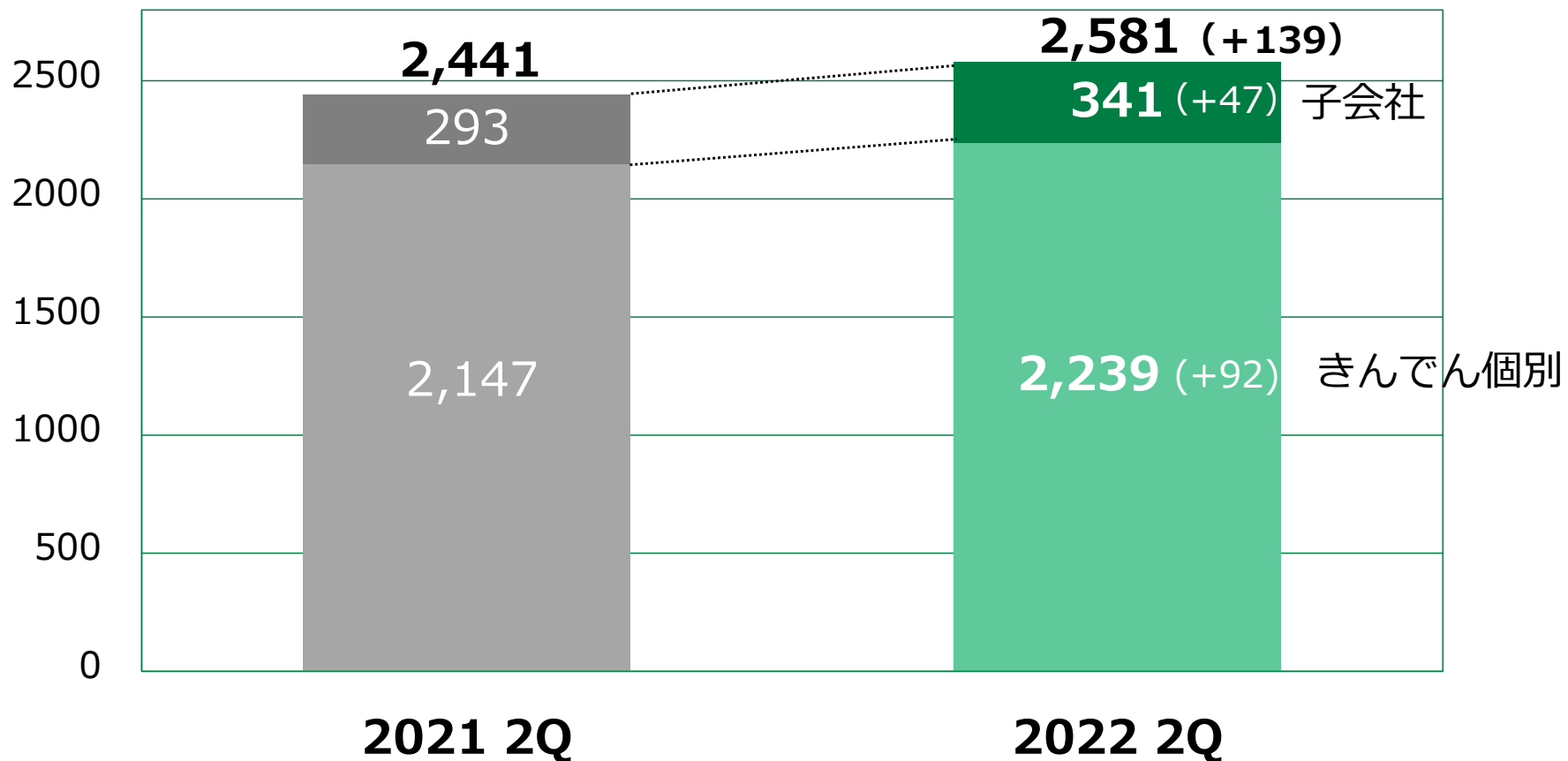
※前年同期実績については、企業結合による暫定的な会計処理の確定後の数値となっています。

(10) 【連結】完成工事高の増減

■ 前年同期から139億円増加 (2,441 → 2,581億円)

- ・ きんでん個別が92億円増加
- ・ 子会社が47億円増加

(単位：億円)



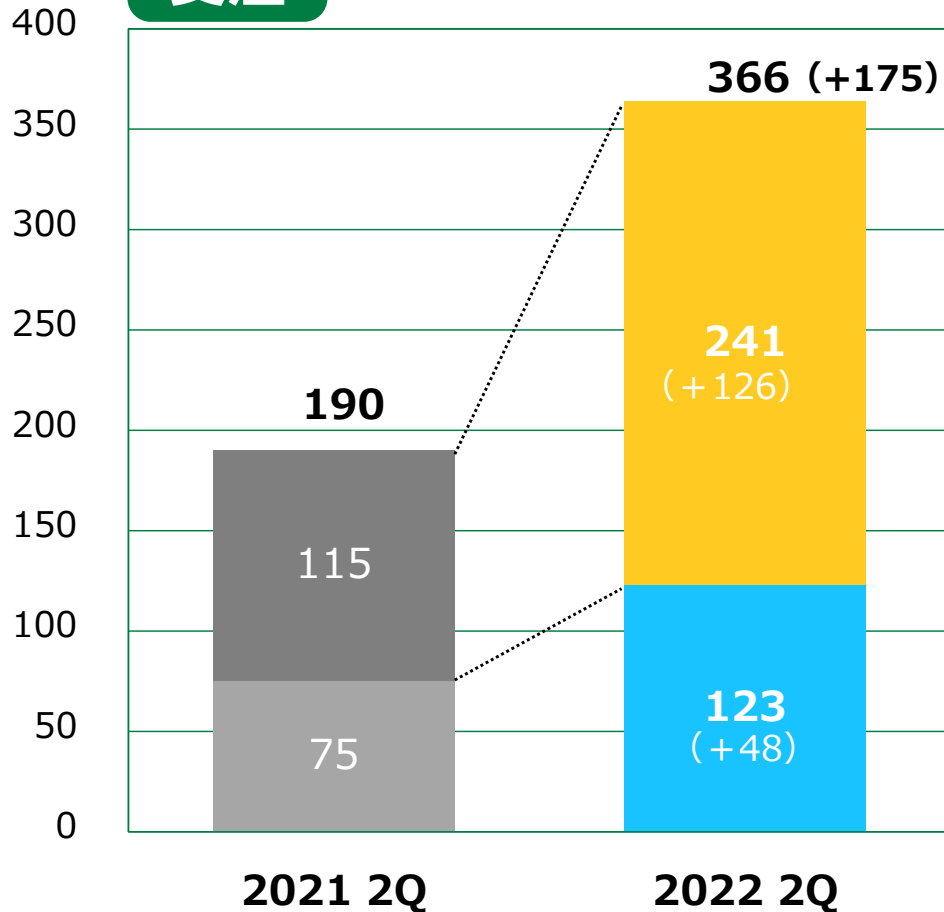
(11) 【連結】海外受注・完成工事高の状況（地域別）

- ・ 受注工事高は、アジア、ハワイ・グアムともに大幅に増加
- ・ 完成工事高は、ハワイ・グアムが増加

(単位：億円)

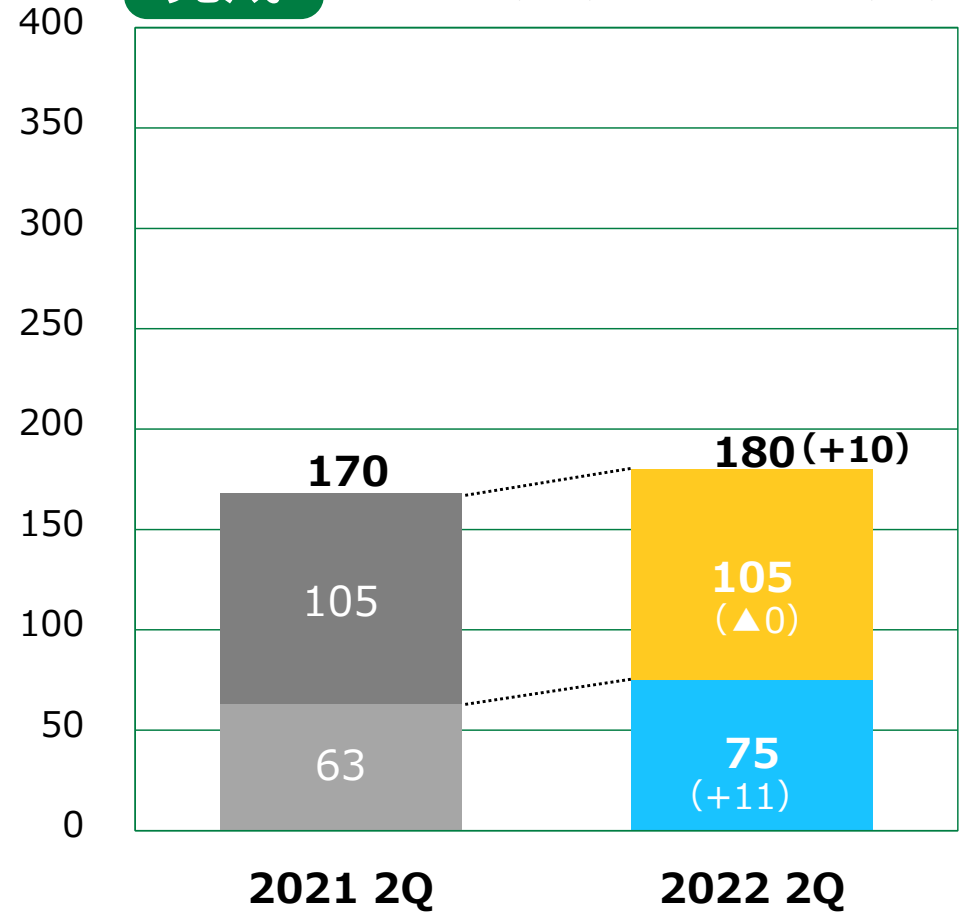
受注

■ アジア ■ ハワイ・グアム



完成

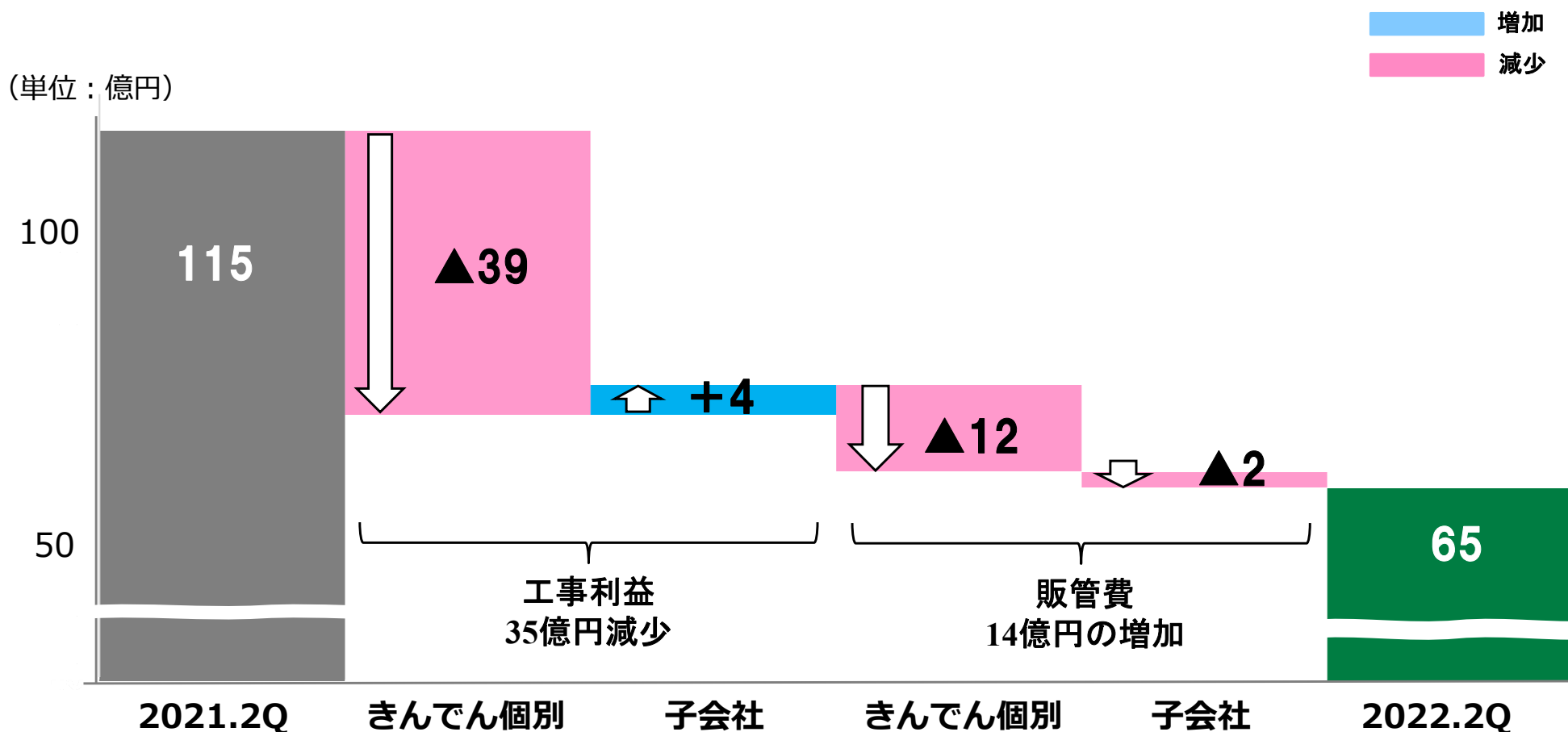
■ アジア ■ ハワイ・グアム



(12) 【連結】 営業利益の増減

■ 前期から49億円減少 (115 → 65億円)

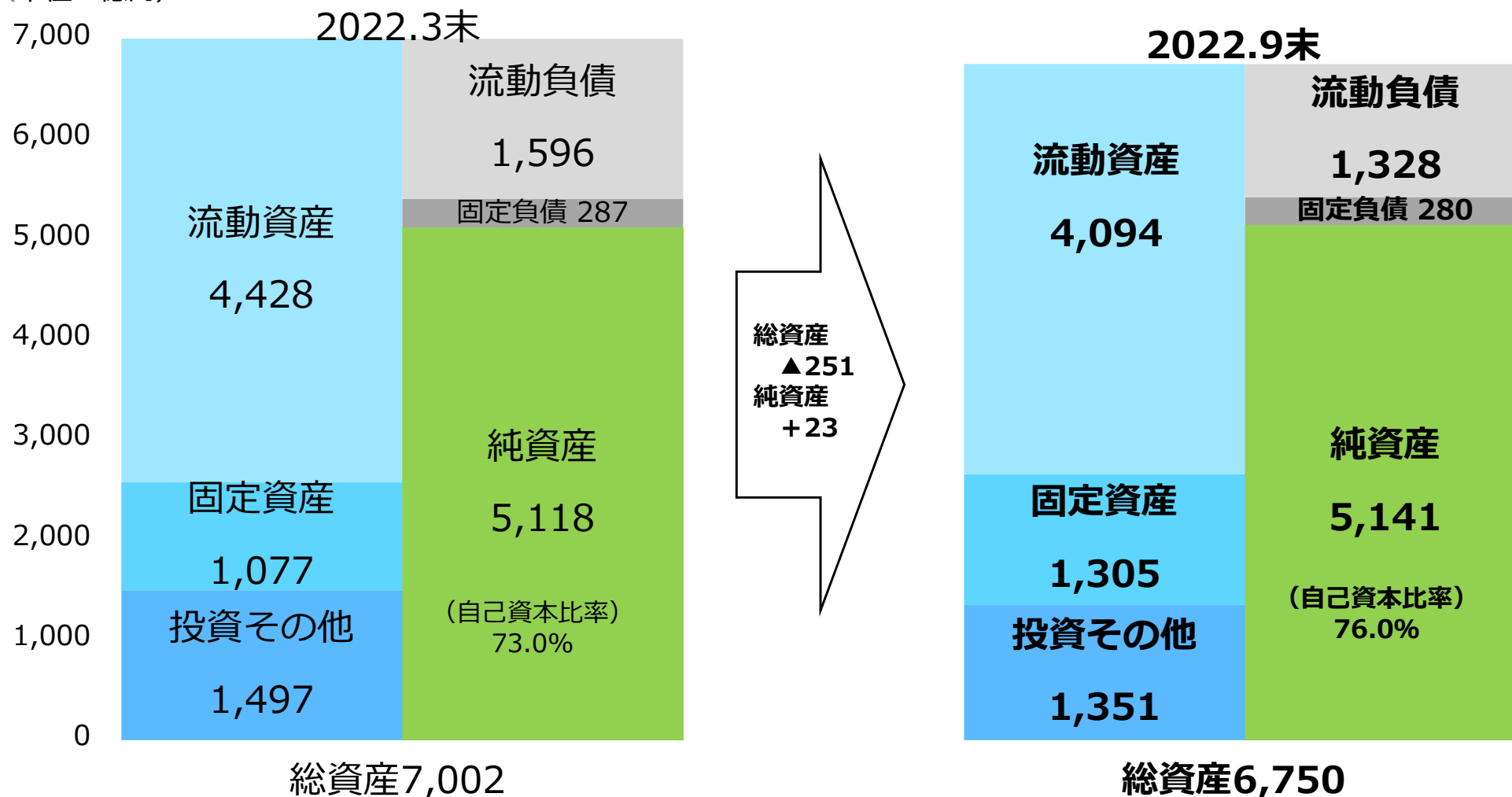
- ・ 工事利益 35億円減少 (きんでん個別 ▲39億円、子会社 +4億円)
- ・ 販管費 14億円増加 (きんでん個別 +12億円、子会社 +2億円)



(13) 【連結】貸借対照表の状況

前期末と比較し、総資産は251億円減少、純資産は23億円増加し、自己資本比率は76.0%となった

(単位：億円)



(14) 【連結】キャッシュ・フローの状況

- ・当第2四半期のキャッシュ・フローは、営業活動で+24億円、投資活動で△278億円、財務活動で△50億円
- ・現金及び現金同等物は283億円減少し、1,561億円となった。

(単位:億円)

	2021.2Q	2022.2Q		
	実績	実績	主な内容	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	147	24	税引前利益の計上 +89	△123
			売上債権の減少 +366	
			仕入債務の減少 △183	
			法人税等の支払 △110	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53	△ 278	固定資産等の支出 △245	△224
財務活動によるキャッシュ・フロー	△46	△ 50	配当金の支払 △39	△3
現金及び現金同等物の増減額	50	△ 283		△334
現金及び現金同等物の期末残高	1,741	1,561		△180

3. 業績予想

(1) 【個別】通期予想

- ほぼ想定していた計画の範囲内で推移しており、期首発表の業績予想から修正なし

(単位:百万円)

	2021	通期予想	差額	率
受注工事高	525,998	500,000	△ 25,998	△ 4.9%
完成工事高	493,724	500,000	6,275	1.3%
営業利益	35,136	30,000	△ 5,136	△ 14.6%
営業利益率	7.1%	6.0%	△ 1.1	—
経常利益	39,443	34,000	△ 5,443	△ 13.8%
当期純利益	25,824	25,000	△ 824	△ 3.2%
1株当たり当期純利益	126.00 円	121.98 円	△4.02 円	

(2) 【連結】通期予想

- ほぼ想定していた計画の範囲内で推移しており、期首発表の業績予想から修正なし

(単位:百万円)

	2021	通期予想	差額	率
完成工事高	566,794	588,000	21,205	3.7%
営業利益	37,087	34,800	△ 2,287	△ 6.2%
営業利益率	6.5%	5.9%	△ 0.6	—
経常利益	39,977	36,900	△ 3,077	△ 7.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	26,366	26,100	△ 266	△ 1.0%
1株当たり当期純利益	128.65 円	127.35 円	△ 1.30 円	

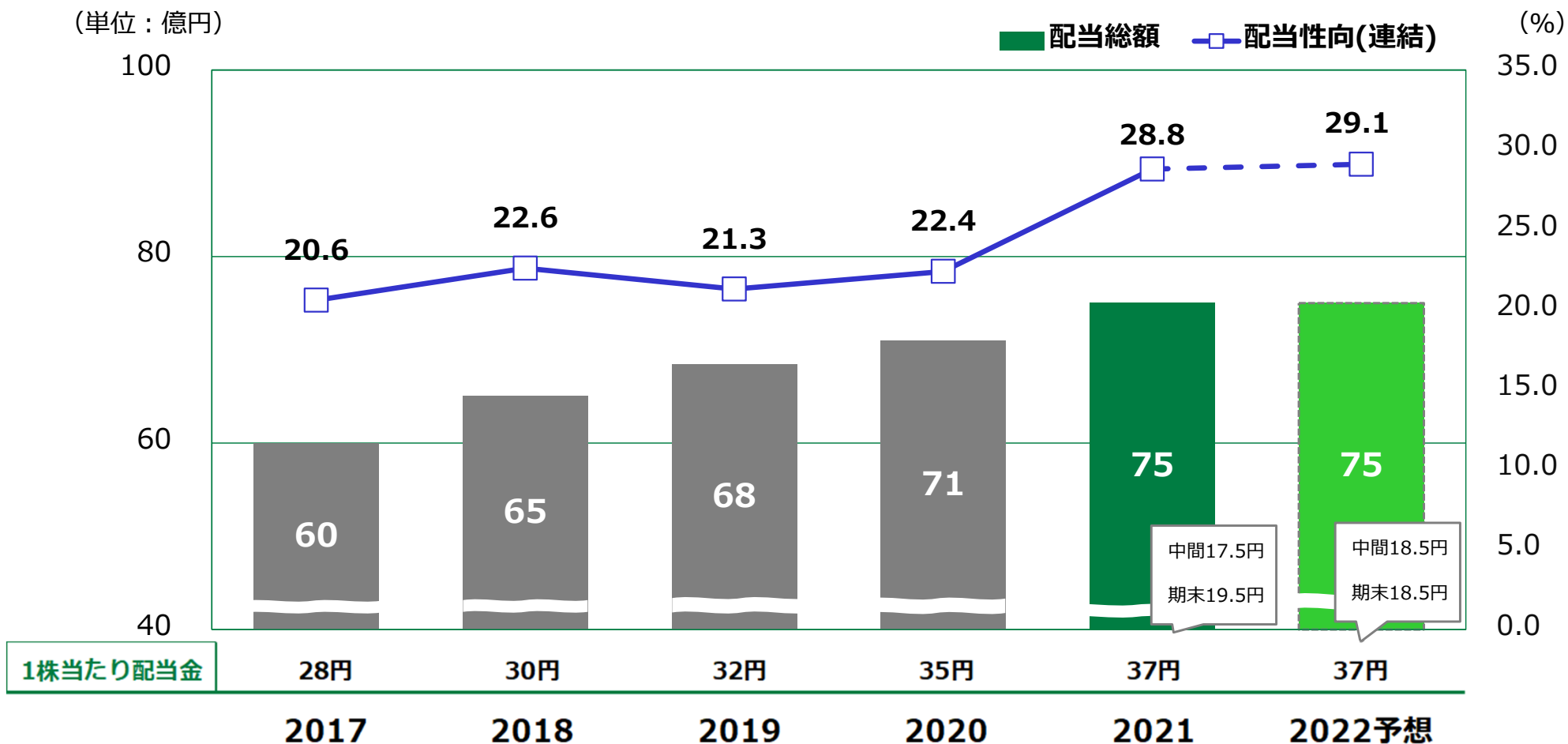
4. 株主還元

配当について

配当方針

株主各位への利益配分は経営の重要課題の一つと位置付け、安定的かつ継続的な配当を基本方針とし、業績及び財務の状況を踏まえて実施していく。

(単位：億円)



Kinden

本資料の予想数値は、当資料の公表日までに入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって異なる結果となる場合があります。

■ I Rに関するお問い合わせ

株式会社きんでん I R・広報部 I Rチーム

〒531-8550 大阪市北区本庄東2丁目3番41号

電話：06-6375-6026